

ふれあい

2018

7

No.376

牛久愛和総合病院 広報誌



【花貫渓谷】撮影：薬剤センター 瞽 伸一

「脳神経外科部長就任の御挨拶 頭部外傷について」

脳神経外科 部長 富永 草彅



平成30年4月より牛久愛和総合病院脳神経外科部長として赴任致しました。4年前にも一度当院で常勤として短期間働かせていただいたことがあります。

医療スタッフの顔ぶれは当時と少々変わりましたが、地域医療に根ざした当院の態勢は今なお変わりません。地域の開業医の先生方とも協力しながら、私自身は脳神経外科専門医という立場から患者さんのために精一杯努力致しますので、今後ともよろしくお願い致します。

さて、今回は脳神経外科の中でも患者さんの多い頭部外傷について少し御説明します。みなさんが生活されている茨城県では自動車に乗車される機会が多いと思います。かつての交通戦争時代には自動車による交通事故を占めていました。しかし、近頃はシートベルト着用義務化に始まり、エアバッグ、チャイルドシート、衝突回避システムなどといった車社会の整備が進み、これまでのような交通事故に伴う重症頭部外傷は減少しました。代わりに高齢者の転倒・転落に伴う頭部外傷はここ数年で急激に増加していることが統計的にも明らかとなっています。

高齢者の頭部外傷における注意点として合併症の存在があります。特に脳梗塞や心筋梗塞の既往歴がある患者さんは抗血小板薬や抗凝固薬といった、いわゆる『血液サラサラの薬』を内服されている患者さんが多く、止血が困難で初期から重篤になる場合や外傷から数ヶ月後に遅れて頭蓋内出血が見つかる場合（慢性硬膜下血腫）も存在します。また、入院後リハビリが中々進まず、入院期間が長いことも特徴のひとつです。超高齢化社会において今後も脳神経外科医が日々悩まされる問題です。

頭部外傷は急性期の臨床症状や画像に注目が集まりがちですが、受傷当時は無症状の患者さんでも慢性期にてんかん発作や外傷後水頭症などを罹患して、判定ができない脳震盪や高次脳機能障害も近年の頭部外傷分野のトピックです。

また、小児虐待が近年深刻な社会問題となっています。頭部外傷を伴った被虐待児は死亡例も報告されており、本邦では対策が立ち遅れています。小児虐待は私が東京女子医科大学で取り組んできたテーマのひとつであり、今後も行政や司法機関と協力しながら取り組んでいく予定です。当院でも積極的小児頭部外傷の受け入れ態勢を整備しております。

当院脳神経外科は頭部外傷以外にも、脳血管障害（血管内治療含む）・脳腫瘍・感染性疾患など多岐に渡って診療が可能ですが、どうぞお気軽に御相談ください。

第69回 生活習慣病教室

「知つていれば怖くない胆石症」

日 時.. 平成30年5月16日(水) 14時半~15時半
場所.. 牛久愛和総合病院 B館2階大ホール
講師.. 総合外科・消化器外科 医長 藤田俊広 医師

◆胆のうと胆のう結石について

胆のうは、右の上腹(胃の隣)に位置し、肝臓で作られた胆汁を一時的に溜めておく場所です。食事を摂ると、胆のうは溜めた胆汁を取り出して十二指腸に排泄します。この胆汁の成分が濁りとなり、固まつたものが胆のう結石です。

胆石症は、胆のうや胆のうと十二指腸の間にある胆管に石ができる病気の総称で、大きく3つに分けられます。それは、溶血などが原因の特殊な結石なのです。次に多いのが、胆管へ石が落ちてしまつた「総胆管結石」、最も少なく難であるのが肝臓の中に石が溜まる「肝内結石症」です。

◆どんな人がなりやすいか
一般的に、女性(Female)、中年(Forty)、肥満(Fatty)、欧米人(Fair)に多く、それらの頭文字より4つのFと言

われています。また、今のところはつきりとわかつてはいませんが、コレステロールやビリルビンが原因に挙げられており、食事の欧米化に伴つて日本での胆石症罹患者が増加しているのではないかと言われています。これは、胆汁の中に含まれるコレステロールが増え、ビリルビン等とともに結晶化して胆石になると考えられている為です。中には、溶血などが原因の特殊な胆石もあります。

予防として、規則正しい生活をするということが言えますが、残念ながら他の病気と違ひ、これをすれば胆石ができるといった明確な予防法はありません。

◆胆石によって生じる問題

胆石があつても9割の方は症状がありません。その為、検診を受けた際に偶然見つかることが圧倒的に多いです。とはいっても胆石には3つの微候があります。それは、腹痛・発熱・黄疸です。胆のうに石が詰まると圧がかかるて腹痛が生じる、そこにばい菌が付いて炎症を起こし熱が出る、胆汁の流れが悪くなり黄疸が見られる、といった具合です。

最も多く見られるのは発熱で、吐き気やむかつき等を伴います。腹痛に関しても、食事をしている際に吐き気等と共に起きります。

◆検査について
検査方法として、腹部エコー検査やMRI、血液検査が挙げられます。エコー検査によつて、ほとんどの胆石は診断をつけることが出来ます。このほかにCT検査も方法としてはありますが、胆石を見つけるには、CTよりもMRIの方が優れています。

多くの人に胆石があります。しかし、胆石のある人が必ずしも胆のうがんになるかという可能性はありません。非常に稀な病気ですが、検診や人間ドックにて発見されることがあります。後者が主です。

をお勧めします。超音波治療等もありますが、あまり効果が見られない為、手術が一般的な治療法とされています。手術は、開腹術と腹腔鏡下内視鏡術がありますが、近年では傷が小さく体への負担が少ない後者が主です。

多いため、症状がなくても定期的に検診を受けることが大切です。

◆胆石症つて治療が必要?

端的に言うと、手術をするか何もしないかの2択になります。

くとも問題はありません。しかし、一度でも症状が出た場合は、再発や重症化する可能性が高い為、手術をすること

◆胆のうがんとの関係
生成される黄色い色素のこと。血液で肝臓に運ばれ、胆汁の中に捨てられる。

◆胆のうがんとは古くなつた赤血球が破壊される際に生成される黄色い色素のこと。血液で肝臓に運ばれ、胆汁の中に捨てられる。

8月8日(水)
糖尿病について(尾本医師)
8月15日(水)
食生活を見直そう(看護師)
8月22日(水)
カロリーとバランスよく食べ方のポイント(管理栄養士)

8月糖尿病教室のお知らせ

事前予約不要、参加費無料ですので、興味のある方は、お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。



春秋園だより

愛和健康まつりで、春秋園利用者様の作品展示・バザーを行いました。

春秋園では、リハビリやレクリエーションの一つとして、手作業を積極的に導入しています。指先や道具を使用して細かい作業をしたり、工程や出来上がりを想像しながら作ることで、心身の活性化を促せるからです。また、作品が形になる事で充実感や達成感を得ることができます。

そして、手作業をより効果的にする方法があります。それは、作品を他の人にほめてもらい、役立てもらうことです。誰かの役に立つと感じられることが、利用者様を他の人にほめてもらい、役立てもらうことです。また、WIN-WINの関係だから好きなのよ」と。

まつり当日は、作品作りに協力していただいた利用者様をご招待し、実際の雰囲気を見ていただきました。お客様が作品みて「素敵ですね」と笑顔になる、その様子を見た利用者様が照れ笑いをする、そんな利用者様みて、スタッフも笑顔になる、そんな笑顔の連鎖が起ころる素敵な一日になったと思います。

たくさんの方にご来場いただき、ありがとうございました。

(春秋園スタッフ一同)



初めての「こども薬局」



先日の健康まつりにて、初めてお子様向けの調剤体験を実施しました。

分包機を使って、錠剤（ラムネやチョコレート）の分包に挑戦。

白衣を着て、少し緊張ぎみの子供たちでしたが、機械から分包されたお菓子が出てくるところを見たら目がキラキラ!!保護者の方からも感動の声が上がりました。

最後は、保護者の方への服薬指導。スタッフは隣でサポートしながら、お子様には、薬剤師になりきって説明していただきました。照れながらの説明でした。

お子様、保護者の方々からは

「親子で楽しめた貴重なイベントだった。また体験したい。」と、

たくさんの声をいただきました。

今年度の反省を踏まえ、来年

度も充実した企画が出来ればと

思っております。

また、今回の体験が子供たちの夢への懸け橋になれることを薬剤師一同祈っています。

(薬剤センター)

6月1日付
看護部

看護師

入職者

小熊 麻里

高玉 沙祐里

看護部
6月16日付
猫と一緒に県外から引っ越してきました。右も左もわかりませんが日々精進する所存です。

■看護部

高玉 沙祐里

■医事情報部
事務 本橋 悅子
「笑顔」を忘れず、患者さんに寄り添つて1つ1つの仕事に取り組みたいと思います。

■医事情報部

高玉 沙祐里

私は無趣味なので、お勧めの趣味がありましたら、是非教えて下さい。

■医事情報部

高玉 沙祐里

事務 富岡 真理子

高玉 沙祐里

私は無趣味なので、お勧めの趣味がありましたら、是非教えて下さい。

■医事情報部

高玉 沙祐里

趣味は旅行、食べ歩き、映画鑑賞、他多数。一日も早くお役

に立てます様に努力致します。



今年も真夏と変わらぬ炎天下の中、6月3日に第19回牛久愛和健康まつりを開催しました。回を重ねるごとに企画も増え、今回は施設内、屋外併せて30企画となり、来場者数も2000名を超える大盛況ぶりでした。特に今回は小さなお子供たちの来場が多く、加した子供たちのいきいきとした表情や満面の笑みがとても印象的でした。

最後に、今回の開催にあたっては牛久市をはじめ、牛久

消防署、多くのボランティア並びに職員のご協力を頂き心より感謝申し上げます。
（牛久愛和健康まつり実行委員会）

第19回牛久愛和健康まつり

6/3



編集だより

日が長くなり、帰るときまだ明るいとちょっと得した気分になります。急に暑くなったり、またすぐに涼しくなったりと体調を崩しやすい気候なので、お体ご自愛下さい。（S・S）



病院理念

我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 489床（一般391床 医療療養型55床 地域包括ケア43床）

施設

敷地 59,449.60m² 駐車場 1151台



日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会

救急 24 時間

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

《関連施設》

- | | |
|--------------------|------------------|
| 総合健診センター | Tel 029-873-4334 |
| 健康増進施設 スポーツリラックス | Tel 029-874-8791 |
| 人工透析センター | |
| 地域リハ・ステーション | |
| 介護老人保健施設 春秋園 | Tel 029-870-3100 |
| 特別養護老人ホーム グランヴィラ牛久 | Tel 029-817-5111 |

診療科目

【一般外来】

内科、消化器内科、循環器内科、心臓血管外科、血液内科、腎臓内科、神経内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科、リウマチ科、小児科、眼科、泌尿器科、皮膚科、整形外科、脳神経外科、形成外科、救急科、外科、乳腺外科、消化器外科、耳鼻咽喉科、産婦人科、歯科口腔外科、甲状腺・内分泌外科

【専門外来】

- 内 科（禁煙外来）
- 整形外科（股関節、脊椎、スポーツ、肩関節、膝関節）
- 小 児 科（小児循環器、小児心理、小児免疫）
- 皮 膚 科（レーザー外来）
- 外 科（下肢静脈瘤外来）
- ストーマ外来
- そけいヘルニア専門外来
- 透析外来
- 内視鏡検査
- 検診検査（乳がん検診）

